

聖書に登場する「イエスの死と復活、そして再臨」(再臨についてのイエスの予告[P.1]を含む)

◆人の子が来る マタイによる福音書 24 : 29~31

「その苦難の日々の後、たちまち／太陽は暗くなり、／月は光を放たず、／星は空から落ち、／天体は揺り動かされる。30 そのとき、人の子の徴が天に現れる。そして、そのとき、地上のすべての民族は悲しみ、人の子が大いなる力と栄光を帯びて天の雲に乗って来るのを見る。31 人の子は、大きなラッパの音を合図にその天使たちを遣わす。天使たちは、天の果てから果てまで、彼によって選ばれた人たちを四方から呼び集める。」

◆人の子が来る マルコによる福音書 13 : 24~27

「それらの日には、このような苦難の後、／太陽は暗くなり、／月は光を放たず、25 星は空から落ち、／天体は揺り動かされる。26 そのとき、人の子が大いなる力と栄光を帯びて雲に乗って来るのを、人々は見ると。27 そのとき、人の子は天使たちを遣わし、地の果てから天の果てまで、彼によって選ばれた人たちを四方から呼び集める。」

◆人の子が来る ルカによる福音書 21 : 25~28

「それから、太陽と月と星に徴が現れる。地上では海がどよめき荒れ狂うので、諸国の民は、なすすべを知らず、不安に陥る。26 人々は、この世界に何が起こるのかとおびえ、恐ろしさのあまり気を失うだろう。天体が揺り動かされるからである。27 そのとき、人の子が大いなる力と栄光を帯びて雲に乗って来るのを、人々は見ると。28 このようなことが起こり始めたら、身を起こして頭を上げなさい。あなたがたの解放の 때가近いからだ。」

◆最高法院で裁判を受ける マタイによる福音書 26 : 57~68

人々はイエスを捕らえると、大祭司カイアファのところへ連れて行った。そこには、律法学者たちや長老たちが集まっていた。58 ペトロは遠く離れてイエスに従い、大祭司の屋敷の中庭まで行き、事の成り行きを見ようと、中に入って、下役たちと一緒に座っていた。59 さて、祭司長たちと最高法院の全員は、死刑にしようとしてイエスにとって不利な偽証を求めた。60 偽証人は何人も現れたが、証拠は得られなかった。最後に二人の者が来て、61 「この男は、『神の神殿を打ち倒し、三日あれば建てることができる』と言いました」と告げた。62 そこで、大祭司は立ち上がり、イエスに言った。「何も答えないのか、この者たちがお前に不利な証言をしているが、どうなのか。」63 イエスは黙り続けておられた。大祭司は言った。「生ける神に誓って我々に答えよ。お前は神の子、メシア（→メシアはヘブライ語[マシアハ]で選ばれた者、油注がれた者）なのか。」64 イエスは言われた。「それは、あなたが言ったことです（→口語訳：あなたの言うとおりで／聖書協会共同訳：それはあなたの言ったことだ／リビング・バイブル：あなたの言ったとおりで）。しかし、わたしは言うておく。あなたたちはやがて、／人の子が全能の神の右 the right hand of power に座り^{※1}、／天の雲に乗って来るのを見る。」65 そこで、大祭司は服を引き裂きながら（→律法では、大祭司は悲しみを表すのに衣服を裂くことは禁止されていた＝レビ 10 : 6、21 : 10）言った。「神を冒瀆した。これでもまだ証人が必要だろうか。諸君は今、冒瀆の言葉を聞いた。66 どう思うか。」人々は、「死刑にすべきだ」と答えた。67 そして、イエスの顔に唾を吐きかけ、こぶしで殴り、ある者は平手で打ちながら、68 「メシア、お前を殴ったのはだれか。言い当ててみる」と言った。

※1：イエス・キリストが神の全権を委任され、すべてを統治（支配）される。→(例)左大臣(日本)

◆最高法院で裁判を受ける マルコによる福音書 14 : 62

イエスは言われた。「そうです。あなたたちは、人の子が全能の神の右 the right hand of power に座り、／天の雲に囲まれて来るのを見る。」

◆最高法院で裁判を受ける ルカによる福音書 22 : 69

しかし、今から後、人の子は全能の神の右に座る。」

【参考】キリストが天の聖所から至聖所に移られた[カライ暦:1844年10月22日]⇒**調査審判**の開始

ダニエル書 7 : 13~14=夜の幻をなお見ていると、／見よ、「人の子」のような者が天の雲に乗り／「日の老いたる者」の前に来て、そのもとに進み／權威、威光、王権を受けた。

諸国、諸族、諸言語の民は皆、彼に仕え／彼の支配はとこしえに続き／その統治は滅びることがない。

◆イエスの死（マタイによる福音書 27：45、46、50～53）

さて、昼の十二時に、全地は暗くなり、それが三時まで続いた（→Now from the sixth hour there was darkness over all the land unto the ninth hour）。46 三時ごろ、イエスは大声で叫ばれた。「**エリ、エリ、レマ、サバクタニ。**」（→詩編 22：2）これは、「わが神、わが神、なぜわたしをお見捨てになったのですか」という意味である。・・・50 しかし、イエスは再び大声で叫び、息を引き取られた（→ルカ 23：46＝イエスは大声で叫ばれた。「**父よ、わたしの霊を御手にゆだねます。**」こう言って息を引き取られた）。51 そのとき、神殿の（聖所と至聖所を区切る）垂れ幕が上から下まで真っ二つに裂け、地震が起こり、岩が裂け、52 墓が開いて、眠りにっていた多くの聖なる者たちの体が生き返った。53 そして、イエスの復活の後、墓から出て来て、聖なる都に入り、多くの人々に現れた。

→ヨハネによる福音書 19：28～31 この後、イエスは、すべてのことが今や成し遂げられたのを知り、「**渴く**」（→詩編 22：16）と言われた。こうして、聖書の言葉が実現した。29 そこには、（十字架刑の苦しみを和らげ、死を早めるための）酸いぶどう酒（→マタイ 27：34）を満たした器が置いてあった。人々は、このぶどう酒をいっぱい含ませた海綿をヒソブに付け、イエスの口もとに差し出した。30 **イエスは、このぶどう酒を受けると、「成し遂げられた It is finished」と言い、頭を垂れて息を引き取られた。**

◆主は来られる テサロニケの信徒への手紙一 4：14～18

14 イエスが死んで復活されたと、わたしたちは信じています。神は同じように、イエスを信じて眠りについた人たちをも、イエスと一緒に導き出してくださいませ。15 主の言葉に基づいて次のことを伝えませ。主が来られる日（→パルシア：ギリシア語）まで生き残るわたしたちが、眠りについた人たちより先になることは、決してありません。16 すなわち、合図の号令がかかり、大天使（→ミカエル）の聲が聞こえて、神のラッパが鳴り響くと、主御自身が天から降って来られます。すると、キリストに結ばれて死んだ人たちが、まず最初に復活し、17 それから、わたしたち生き残っている者が、空中で主と出会うために、彼らと一緒に雲に包まれて引き上げられます。このようにして、わたしたちはいつまでも主と共にいることとなります。18 ですから、今述べた言葉によって励まし合いなさい。

◆主の来臨の約束 等

◎ペトロの手紙二 3：10 **主の日は盗人のようにやって来ます。**その日、天は激しい音をたてながら消えうせ、自然界の諸要素は熱に熔け尽くし、地とそこで造り出されたものは暴かれてしまいます。

◎ヨハネの黙示録 1：7 **見よ、その方が雲に乗って来られる。**すべての人の目が彼を仰ぎ見る、／ことに、彼を突き刺した者どもは。地上の諸民族は皆、彼のために嘆き悲しむ。然り、アーメン。

◎ヨハネの黙示録 6：16～17 山と岩に向かって、「わたしたちの上に覆いかぶさって、玉座に座っておられる方の顔と小羊の怒りから、わたしたちをかくまってくれ」と言った。17 **神と小羊の怒りの大なる日が来たからである。だれがそれ（→再臨）に耐えられるであろうか。**

◎鎌が地に投げ入れられる（裁きの執行）ヨハネの黙示録 14：14～20

また、わたしが見ていると、**見よ、白い雲が現れて、人の子のような方がその雲の上に座っており、頭には金の冠をかぶり、手には鋭い鎌を持っておられた。**15 すると、別の天使が神殿から出て来て、雲の上に座っておられる方に向かって大声で叫んだ。「鎌を入れて、刈り取ってください。刈り入れの時が来ました。地上の穀物は実っています。」16 そこで、雲の上に座っておられる方が、地に鎌を投げると、地上では（キリスト者の）刈り入れが行われた。17 また、別の天使が天にある神殿から出て来たが、この天使も手に鋭い鎌を持っていた。18 すると、祭壇のところから、火をつかさどる権威を持つ別の天使が出て来て、鋭い鎌を持つ天使に大声でこう言った。「その鋭い鎌を入れて、地上のぶどうの房を取り入れよ。ぶどうの実には既に熟している。」19 そこで、その天使は、地に鎌を投げ入れて地上のぶどうを取り入れ、これを神の怒りの大きな搾り桶に投げ入れた。20 搾り桶は、都の外で踏まれた（→神の救いの及ばない領域で神の敵対者たちが滅ぼされた）。すると、血が搾り桶から流れ出て、馬のくつわ（→馬の胸ほどの高さ）に届くほどになり、千六百スタディオン（≒300 km→全世界）にわたって広がった。

◆白馬の騎手 ヨハネの黙示録 19：11～16

そして、わたしは天が開かれているのを見た。すると、**見よ、（勝利の象徴である）白い馬が現れた。**それに乗っている方は、「誠実」および「真実」と呼ばれて、正義をもって裁き、また戦われる。12 その目は燃え盛る炎のようで、頭には多くの王冠があった。この方には、自分のほかはだれも知らない名が記されていた。13 また、血に染まった衣を身にまとい、その名は「神の言葉」と呼ばれた。

14 そして、天の軍勢が白い馬に乗り、白く清い麻の布をまとってこの方に従っていた。15 この方の口からは、鋭い剣が出ている。諸国の民をそれで打ち倒すのである。また、自ら鉄の杖で彼らを治める。この方はぶどう酒の搾り桶を踏むが、これには全能者である神の激しい怒りが込められている。16 この方の衣と腿のあたりには、「王の王、主の主」という名が記されていた。

◆キリストの復活 コリントの信徒への手紙一 15 : 3~8

最も大切なこととしてわたしがあなたがたに伝えたのは、わたしも受けたものです。すなわち、キリストが、聖書に書いてあるとおりに①わたしたちの罪のために死んだこと、②葬られたこと、また、聖書に書いてあるとおりに③三日目に復活したこと、④ケファ（=ペトロ）に現れ、⑤その後十二人（の弟子たち）に現れたことです。⑥次いで、⑥五百人以上も兄弟たちに同時に現れました。そのうちの何人かは既に眠りについたにしろ、大部分は今なお生き残っています。⑦次いで、⑦（イエスの弟）ヤコブに現れ、その後⑧すべての使徒に現れ、⑧そして最後に、月足らずで生まれたような⑨わたしにも現れました。

◆死者の復活 コリントの信徒への手紙一 15 : 20~26

しかし、実際、キリストは死者の中から復活し、眠りについた人たちの初穂となられました。21 死が一人の人によって来たのだから、死者の復活も一人の人によって来るのです。22 つまり、アダムによってすべての人が死ぬことになったように、キリストによってすべての人が生かされることになるのです。23 ただ、一人一人にそれぞれ順序があります。最初にキリスト、次いで、キリストが来られるときに、キリストに属している人たち、24 次いで、世の終わりが来ます。そのとき、キリストはすべての支配、すべての權威や勢力を滅ぼし、父である神に国を引き渡されます。25 キリストはすべての敵を御自分の足の下に置くまで、国を支配されることになっているからです。26 最後の敵として、死が滅ぼされます。

◆復活の身体 コリントの信徒への手紙一 15 : 51~53

わたしはあなたがたに神秘を告げます。わたしたちは皆、眠りにつくわけではありません。わたしたちは皆、今とは異なる状態に変えられます。52 最後のラッパが鳴るとともに、たちまち、一瞬のうちにです。ラッパが鳴ると、死者は復活して朽ちない者とされ、わたしたちは変えられます。53 この朽ちるべきものが朽ちないものを着、この死ぬべきものが死なないものを必ず着ることになります。

